平成26年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	林業振興助成事業
予算科目	6 款　2 項　2 目
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 林業の振興
所管課情報	担当課：　農林水産課　電話番号（内線）：　579
記入者情報	所属長：　亀岡 泰三　担当責任者：　福積 和富
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　17 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	伊予森林組合等林業振興に係る事業従事者
根拠法令等	伊予市除間伐材出荷促進対策事業費補助金交付要綱他
事業の目的	原木椎茸優良品種導入・林道整備・除間伐材出荷促進等事業を実施し、森林の保全と林業・山村の健全な育成を図る。
事業の内容	原木椎茸優良品種導入・林道整備・除間伐材出荷促進・森林環境保全整備等事業の推進補助
改善策の具体的取り組み（当初）	少子高齢化等を理由として、参加者数は減少しており、新たな取組みを以って新規参加者の加入等を目指す必要があるものの、難しい現状である。
改善策の具体的取り組み	林業振興のため、事業を推進する必要がある。

事業費及び財源内訳

項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	42,900	35,901	477	35,901
	人件費	2,440	2,386	1,193	2,386
	合計	0	38,287	1,670	38,287
人件費内訳	人工数	0.30	0.30	0.15	0.30
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	2,386	1,193	2,386
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	45,340	38,287	1,670	38,287

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
林道整備事業	m	2235.5	2309	63.5	1028
除間伐材出荷促進事業	m3	8410	7000	4000	8464
森林環境保全整備事業	ha	133	140	50	120

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	140,000

成果指標				
成果指標	当該年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積／昨年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積×100			
指標設定の考え方	森林の環境整備に直接影響する3事業について、各達成指標を連乗し昨年度の実績と比較することで効果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目　標	100%以上	100%	0	0
実　績	72.5%	71%	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各事業に対して、適切に補助金の支出を行った。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	林道整備・除間伐材出荷促進等の各事業に対しての補助は、地域林業の振興を図るうえからも重要な事務事業である。今後においては、関係機関である森林組合と各事業の実態にあった補助の見直し等も検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	